

にじ もりこうえん おさかなかん 殿  
虹の森公園 おさかな館

平成9年開園  
北宇和郡松野町

■事績

四万十川の自然と文化をテーマに、源流域の一つである滑床溪谷を含む上流から河口域までの生き物を飼育・展示している。淡水魚の水族館は全国的にも珍しく、川をテーマにしたのは全国初の試みで、生息環境を再現した屋外水槽では自然のままの魚たちに出会うことができる。直接触れるタッチ水槽や世界最大の淡水魚ピラルクのエサやり体験なども実施。視聴覚機器が整備されたセミナールームも備え、館内の生き物をテーマにした教育プログラムは学校教育の一環として利用されている。

ペンギンたちとふれあうイベントやコツメカワウソの食事の公開など楽しい企画を通して生命の大切さを訴えているほか、今年から大きな水槽を積んだトラックで県内の小学校などを回る移動水族館もスタート。未来を担う子どもたちに貴重な自然の保護を呼びかけている。水辺の様々な生き物に関する研究論文を学術誌で発表。アカザやキオビヤドクガエルの繁殖では日本動物園水族館協会から表彰を受けた。幻の魚と呼ばれるアカメの繁殖の研究など生態系の学術調査も行い、互いに深く結びついている森・川・海的环境を守る啓発の場として重要な役割を担っている。

■主な受賞歴など

- ・日本動物園水族館協会繁殖賞  
平成14年度「アカザ」  
平成17年度「キオビヤドクガエル」
- ・公益信託 伊予銀行環境基金エバーグリーン  
平成21年度「愛媛県内におけるアカメの生態調査および保全に関する調査研究」実施